

仙台市図書館ブックトークボランティア「ランプ」

－ サークル案内 並びに 利用案内 －



1. 結成のねらい
2. 活動の概要
3. 依頼から実践までの流れ
4. 申込及び実践に関する注意事項

(別添：①ブックトーク申込送信票 ②ブックトーク打合せシート)

- ◆「ランプ」は、仙台市図書館が養成したボランティアグループです。
良い本、面白い本を照らし出す「ランプ」のような存在になりたいという思いを込めてつけました。
- ◆「ランプ」は、学校からの依頼を受け、教室を訪問してのブックトークを行います。
- ◆「ランプ」は、互いの技術を厳正に評価し合い、全員が納得した演目だけを現場に提供するシステムです。
- ◆「ランプ」は、仙台市図書館の指導のもと、学校の教育活動に生きる本の紹介を目指します。

1. 結成のねらい

○子ども読書活動推進事業への協働

〈背景〉

- ・ブックトークへの関心の高まり
- ・学校現場からの声（4年生←図書館員 その他の学年にも）

◆参考◆

なぜブックトーク？ ブックトークの長所

- ・短い時間で長い本を紹介できる
- ・主体的に読む態度を育成できる
- ・聞き手が自分と向き合うことができる
- ・聞き手の読書の幅を広げられる
- ・多くのニーズに応えられる
- ・授業での図書館活用につなげられる



ブックトークの目的は、子どもに「本を読みたい」という気持ちを起こさせることです。「本っておもしろそう」「読書は新しい世界を開いてくれる」と感じ、本との出会いが生まれてくれることを期待しています。

2. 活動の概要

(1) 会のあゆみ

- 平成22年6月～9月 仙台市図書館主催ブックトークボランティア養成講座
(全5回 講師：市民図書館 中川美佳先生) 受講
- 平成22年11月 会立ち上げ
- 平成22年11月～ 毎月1回、定例会を行い研修

(2) 会員について

- 現在会員数25名
- * 仙台市図書館主催ブックトークボランティア養成講座 第1～9回受講者

(3) 会の名称「ランプ」

- 「1冊1冊の本に光を当てよう」
- 「子どもたちの読書の未来を照らす灯火として進んでいこう」

(4) 会の基本方針

仙台市図書館の支援をいただき、生涯学習の場として月1回の定例会にて研鑽に励むとともに子どもたちの読書推進活動にも協力できれば、という思いを共有し活動しています。

(5) シナリオリストについて

ブックトークの実演及び合評会を経てのシナリオ登録制をとっています。

選書、シナリオの流れ、トークの運び等、吟味を重ね、一定の評価基準を超えた演目のみをリストにあげ、学校にお出しする流れになっております。

*シナリオリストは、各学校へ「C4 t h」を通して配信されます。

*仙台市図書館のHPからも閲覧できます。

*シナリオリスト見本 (シナリオ数：小学1年生～中学生まで約100本 内中学生用約30本)

対象	テーマ	キーワード	
小学3・4年生	ひとつになる！	友情・人のつながり	
書名		著者	出版社
わらいの王子様		令丈ヒロ子	理論社
ピトゥスの動物園		サバステア・スリバス	あすなろ書房
きみはダックス先生がきらいか		中原一歩	大日本図書

対象	テーマ	キーワード	
小学5年生～中学生	ただ今考え中 ～未来の自分	仕事	
書名		著者	出版社
続 しごとば		鈴木のりたけ	ブロンズ新社
しごとば 東京スカイツリー		鈴木のりたけ	ブロンズ新社
町工場のものづくり －生きて 働いて 考える－		小関智弘	少年写真新聞社
「大好き」を見つけよう		中原一歩	講談社

対象	テーマ	キーワード	
中学生	逃げ場所ありますか	居場所・心の逃避・可能性・共感・受容	
書名		著者	出版社
学校へ行けなかった私が「あの花」「ここさけ」を書くまで		岡田磨里	文藝春秋
小やぎのかんむり		市川朔久子	講談社
虹の岬の喫茶店		森沢明夫	幻冬舎

6) 活動の記録

平成23年度	12実践	(小学校 10 / その他 2)
24年度	32実践	(小学校 28 / 中学校 1 / その他 3)
25年度	31実践	(小学校 25 / 中学校 2 / その他 4)
26年度	43実践	(小学校 38 / 中学校 3 / その他 2)
27年度	37実践	(小学校 31 / 中学校 3 / その他 3)
28年度	40実践	(小学校 29 / 中学校 3 / その他 8)
29年度	49実践	(小学校 37 / 中学校 5 / その他 7)
30年度	43実践	(小学校 34 / 中学校 2 / 中高1/ その他 6)
令和 1年度	49実践	(小学校 36 / 中学校 5 / 中高1/ その他 7)
2年度	40実践	(小学校 34 (特別支援3) / 中学校 3 / その他 3)

*表彰の記録 平成29年度 ☆図書館事業功労者
☆優良読書グループ

3. 依頼から実践までの流れ

- ① 別添の「申込送信票」に必要事項を記入し、FAX で送付。
受付窓口は、市民図書館 小野寺雅美先生（FAX 022-213-3524）
- ② ランプから担当の先生に受け付けた旨を FAX で連絡
- ③ 編成された実践チーム責任者と担当の先生との事前打合せ（電話にて）
（打合せ終了後、ランプ担当者より担当の先生に「打合せシート」を FAX で送信します）
- ④ ブックトーク当日（貸出本は早目に届きますが、児童にはまだ見せないようお願いします。）
- ⑤ 先生方のみアンケート記入（ メール便で送付。受付窓口は、市民図書館 小野寺雅美先生 ）

4. 申込及び実践に関する注意事項

(1) 実施形態について

ブックトークは以下のパターンで実施可能です。

- ① 2つのテーマのブックトーク（約15分×2）
- ② 大きな1つのテーマのブックトーク1本（約30分）
- ③ 図書室で1つのテーマ（約15分）のブックトークの後、図書活動。

(2) 実施する学年について

ブックトークは基本的に中学年からが望ましいのですが、1・2年生用のシナリオもございます。

(3) 申込締め切りについて

申込締め切りは、**12月末日**になります。

日程調整のため、希望実施日の**2ヶ月前**までに申込みいただけると助かります。

（夏休み前の実施についても担当者の日程が合えば可能です。）

1学期の実施は、比較的日程調整が行いやすいです。

(4) 図書の貸し出しについて

仙台市図書館より紹介本を1ヶ月間貸し出すことができます。（紹介本を含め30冊まで貸出可）

貸出・返却は、配送サービスを利用しております。

* 「ランプ」の活動についてのお問い合わせは、下記担当でお受けいたします。

市民図書館 小野寺雅美（TEL 261-1585 FAX 213-3524）

泉図書館 早坂 美幸（TEL 375-6161 FAX 375-6165）